

令和3年度校長有資格者学校経営研修会におけるAPに関わる演習より!

「新任校長として赴任した学校で・・・、さて校長としてどう動く!」

2月17日(木)、校長有資格者を対象に任用前研修会を開催しました。この会の中で、「目標達成マネジメントと組織マネジメントによるアクションプランの推進」と題して、演習を中心とした研修を行いました。

今回の演習では、新任の校長として赴任した学校に存在するAP推進上の課題に対して、校長としてどのように取り組んでいくかを考えていただきました。できるだけ現実的な課題を想定し考えていただくことで、4月当初から校長としてのビジョンと戦略をしっかりと立てて取り組むことができるのではないかと考え実施しました。

ご紹介するグループ課題は、校長先生方の学校にもある課題かもしれませんし、転任される校長先生には赴任校であり得る課題として想定しておいてもよいかもしれません。

ぜひ参考にしていただき、アクションプランをツールとした学校マネジメントの充実、そして学力向上を図っていただきたいと思います。

お願い

引継ぎの時、APは作ってあったのですが、前年度とほぼ同じような内容で、前任の校長先生から「あとは先生の方で、いいように修正して、やってください。」とだけ言われたとしたら、後任の校長先生はどうしたらよいのでしょうか?

新任や転任の校長先生にとっては、目が点になるような言葉だと思いますし、もし、このようなことを言われたら非常に不安になることと思います。

校長先生方には、今年度の内に来年度のAPを学校全体の共通理解の下に作成し、推進できる体制を考えておいていただきたいと思います。

もちろん、人事異動があるので、年度末に考えた通りには行かないかもしれませんし、新しい校長先生のビジョンや戦略が反映されることも踏まえておく必要があります。



- 今年度のAPの取組の総括（最終評価）の内容は、全教職員で共有しておきましょう。
- その上で、来年度の目標や取組について全体で検討・確認し、APを作成していきましょう。  
学校全体で組織的な取組にしていくために、全教職員で、または主任等核となる先生方と共に、**動画「次年度学校経営アクションプラン作成に当たって」**（※）を視聴することも一つの方法です。
- APを推進していくための組織体制や役割分担、スケジュール等を可能な範囲で具体化しておきましょう。（具体的なモデルは、第14号を参考にしてください。）
- 退職・転任される校長先生は、後任の校長先生との引継ぎの際、来年度の「学校経営計画書」とともに、APに関する上記のような内容について詳しく説明しておきましょう。

## 次のようなグループ課題についても考えました！

グループ課題に対する校長としての対応について、協議された内容は別号でお伝えします。

このような課題が  
もし自校にも  
あるとしたら、  
改善に向けて考えて  
おく必要があります！

### 【グループ課題】

課題番号	
①	引継ぎの時、「うちにはリーダーとなる先生がいないので、管理職ができる範囲でやっている。APを組織的に推進していく体制づくりが課題です。」と言われていた。
《今年度のAPは昨年度末に各部会（PT）に分かれて作成し、全体で共有したものになっている。しかし、次のような課題があった。》	
②	取組を検証改善していく仕組みが確立されていない。
③	それぞれの取組について誰が中心となって進めるのか明確になっていない。
④	授業改善の方向性はある程度絞られているが、具体的な取組がそれぞれの先生、学級、教科に任されていて、学期に数回の授業研究を行うだけである。
⑤	自己肯定感の低さは確かに調査等で明確になっているが、どこの学校でも取り組んでいるような一般的な取組があげられていて、前年度とほぼ同じである。
⑥	前年度末に全体で共有はされているが、取組について非常に消極的な教員が数名いて、統一した取組がなかなかできないことが分かった。
⑦	経験年数が少ない教員が多く、APの取組が実践に結び付いていかない状況がある。
《1学期が始まり1日1回は授業を見て回るようにしているが、行われている授業で次のような課題があった。》	
⑧	教授型の授業が中心で、児童生徒が思考・判断・表現する場面がほとんど見られない授業が多い。
⑨	1単位時間のタイムマネジメントができておらず、まとめや振り返りの活動が時間内に行えなかったり、形だけになっていたりする。
⑩	経験年数の少ない教員の授業力に大きな課題がある。
⑪	特別な支援を必要とする児童生徒が在籍する学級では、落ち着いた雰囲気の中で学習ができていない状況がある。
⑫	授業で学習したことを定着するための取組がほとんど行えていないためか、学力調査の結果が伸び悩んでいる。